



「SGH」の認定を受けて

(新約聖書ヤコブの手紙4章1節)

広島女学院中学高等学校 校長 星野 晴夫

中高は本年3月に文部科学省からSGH(スーパーグローバルハイスクール)の認定を受けました。否応なく押し寄せる世界化に対応できる若い世代を育てることを急務として、国は大学に続き高校においてもグローバル教育を進める為にこのプロジェクトを進め、全国246校の応募校中49校が選定されました。女学院は創立以来国際的な広がりの中で歩み続けてきた学校であり、今回のSGH公募は看過できない思いがありました。1月の公募発表から書類提出までわずか1ヶ月足らずの期間、プロジェクトチームに任命された教員は勿論、関心を持って自主的に参加した教員達は、毎日の業務を終えてからの時間を使い休日返上で取り組み、女学院大学教員の方々の協力と示唆をも頂く中で提出書類を完成させました。本校に於けるSGHの取り組みは、これまで本校が積み上げてきた教育を国際的なレベルにまで引き上げることを目指しています。女学院を特色付ける教育は日々の礼拝を通して育まれるキリスト教主義教育を基盤として、国際的な視野の中で物事を考える「国際教育」、女性としての生き方を考える「女子教育」、人が人間らしく生きるためのあり方を考える「人権教育」、そして戦争の無い世界の構築を考える「平和教育」を柱としてきました。しかしSGHでは、従来独立した形で行われてきたこれらを再編成し、場合によっては教科も含めた横断化を図り、「ピーススタディーズⅡPS」として一体化し、これらの6年間の教育を経て、「核の惨禍の無い世界を創り出すしなやかな女性」を輩出することを目標としています。平和教育を受け熱い思いをもって原爆の被害について留学先で発信した所、全く違った立場からの激しい反論を受け、苦い思いを持って帰国した卒業生の体験を聞くことがありました。グローバルに平和を発信するためには、国や地域において大きく異なる様々な立場における平和観を学び、発信の際にも他者をしっかりと納得させる論理的な考え方と、対立する価値観を持つ者同士の間での対話力を身につけ、正解の無い問題に忍耐強く取り組む思考力が必要とされます。5年間のSGHを通して、これらの力を向上させ、アジアも含めた更なる国際交流を広げ、複数大学との連携をし、全ての対話の道具である英語の総合力を高めていくつもりです。

さて高校では1学期にPSプログラムのゲストとして、ルワンダとカンボジアの現地の方からそこで起きたそれぞれの内戦について話を伺う機会があり、親しかった同国人同志があるきっかけによって憎しみの内に殺しあったという歴史の現実を聞きました。グローバルな広がりの中で世界の戦争と平和について考える事は、一方でそれぞれの個の中に潜む罪の現実と向き合うことでもある事を忘れてはならないと実感しました。

「何が原因であなた方の間に戦いや争いが起こるのですか。あなたがた自身の内部で争い合う欲望がその原因ではありませんか。」



2014年8月23日 本校「SGH研究発表会」：5月のNY国連本部訪問(NPT再検討会議準備委員会)について発表する高校生

大学

2014年春季宗教強調週間 2014年5月12日(月)～16日(金) 「おいしい!キリスト教」に込められた思い

今季宗教強調週間の特別講師は、キリスト新聞社「Ministry」誌編集長である松谷信司氏をお迎えした。

松谷氏の活躍は同誌を超えて多岐にわたり、「いのり☆フェスティバル」なるコミケ形式の超教派・多宗教によるイベントや、聖書を題材にしたカードゲーム「パイプハンター」は、大きく話題となった。しかし、こういった軽やかなアプローチの奥には、聖書の福音を広く分か

ち合いたという情熱が込められている。

松谷氏は著書「若者とキリスト教」で、現代日本における宗教とサブカルチャーの共通点や親和性に言及しているが、ある意味でキリスト教も成立当時はユダヤ教やローマ帝国に相対するサブカルチャーであった。既成の伝統の枠を超えた視点から語られるメッセージは、多くの学生の心に届いた。講演後のTwitterを駆使して

の質疑応答も斬新な試みであった。

今季強調週間では他に、チャペルにて、管理栄養学科で初のハワイ・ワールドワークの意欲的な発表や、アンサンブル・エスポワールによる演奏が披露され、また食堂のベジフルメニューでも聖書にちなんだ食材・メニューが学生の手による魅力的な説明文つきで提供された。(チャペレン 澤村 雅史)

第48回原爆講座

ー8・6の意味するものー

7月1日(火)の「キリスト教の時間」は、アメリカの詩人アーサー・ピナード氏を迎え、「ピカが教えてくれたこと」と題して講演いただいた。ピナード氏は、初め核兵器原子爆弾という言葉で原爆を理解していた。しかしそれは米国政府や軍需産業の人の言葉であり、原爆投下の際、近くにいた被爆者の方が原爆を「ピカ」と表現し体験を語るのを聞き、言葉の選択がその人の立ち位置選択になっていると気付いたと話された。

7月1日(火)の「キリスト教の時間」は、アメリカの詩人アーサー・ピナード氏を迎え、「ピカが教えてくれたこと」と題して講演いただいた。ピナード氏は、初め核兵器原子爆弾という言葉で原爆を理解していた。しかしそれは米国政府や軍需産業の人の言葉であり、原爆投下の際、近くにいた被爆者の方が原爆を「ピカ」と表現し体験を語るのを聞き、言葉の選択がその人の立ち位置選択になっていると気付いたと話された。

女学校卒業生・小方澄子さん(爆心地から700mの十日市で被爆)が体験談を話された。被爆後の療養中は、髪が束になって抜け紫色の斑点が出るなど被爆症状に苦しみました。今は平和を守るため語り続けたいとお話を



結ばれた。また、木曜日チャペルの中ではオルガンピースコンサートを開催。4名の学生によるパイプオルガン演奏が披露された。(宗教センター事務課長 坂野 康文)

管理栄養士国家試験合格率100%達成

2014年3月に実施された管理栄養士国家試験において、念願の合格率100%を達成しました。毎年、管理栄養学科では学生と教員が丸となって国家試験に望んでいます。年明けの1月になると多くの学生は不安と闘っています。それを乗り越えて、昨年度は受験者全員の合格が達成でき、学生と教員みんな喜びあうことができました。本当にうれしかったです。来年もまた全員で喜びあいたいと願っています。

	第25回 2011年	第26回 2012年	第27回 2013年	第28回 2014年
合格者/ 受験者(人)	65/66	67/71	63/67	63/63
合格率	98.5%	94.4%	94.0%	100%
<参考>第28回(2014年)管理栄養士国家試験 全受験者の合格率				48.9%
新卒管理栄養士養成課程				91.2%

(管理栄養学科主任 石長孝二郎)

広島女学院大学の管理栄養士国家試験合格率の推移

「幼心座」旗揚げ

毎年7月のオープンキャンパスで、3年生が自分たちで企画・演出した作品を発表する公演を行っている。この公演は、学科が設立された時から開催しており、今年度で第6回目を迎える。内容は、器楽演奏、劇、合唱、ミュージカル、リトミックと様々な表現方法で構成されていて、毎回その完成度の高さに内外からの評価も高く、この公演を見て、本学の学科を志望したという学生も多い。今年度から、学生が自ら企画した公演を称して「幼心座」と名付け、学内のオープンキ

ャンパスに限らず、学外の色々な場所で展開出来たらと考えている。今年4月には広島現代美術館で「幼心座」として初の公演を行い、好評を博した。(幼児教育心理学科主任 三桝 正典)



広島市現代美術館での幼心座公演の一コマ

2014(第32回)広島女学院大学公開セミナー

- テーマ「食生活と健康の関わりを考える」
- 第1回 10月4日(土) 「生活習慣病と食生活」 管理栄養学科専任講師 野村希代子
- 第2回 10月18日(土) 「アクティブライフのすすめ ～身体活動と健康を考える～」 管理栄養学科教授 下岡里英
- 第3回 10月25日(土) 「食物アレルギーと食育を考える」 管理栄養学科准教授 妻木陽子
- 第4回 11月1日(土)

- 2014年度ゲインズ 学術奨励賞受賞者
- 文学部
 - 日本語日本文学科 悠衣
 - 英米言語文化学科 松原 由実
 - 幼児教育心理学科 永吉 ゆま
 - 生活デザイン・情報学科 久保百合香
 - 管理栄養学科 阿川 葉月

BGSUとの「ピースセミナー」

姉妹提携大学のひとつ、ポーランドのグリン州立大学(BGSU)・米国オハイオ州)との「ピースセミナー」(Hiroshima Studies)が八・六原爆忌をささむ一週間(八月一日〜七日)で実施されました。被爆者、平和運動家、専門研究者など多くの方々による講義、広島市平和記念資料館、広島市平和公園、放射線影響研究所などでのフィールドワーク、八月六日には広島市原爆死没者慰霊式、広島女学院平和祈念式に参

国際教養学部の勉強会

列するなど、多彩なプログラムからなる授業です。本学学生(聴講生含)とBGSU学生は熱心な質疑意見交流により、「平和を創り出す」ことの大切さを実感できたことと思います。「リメンバー・ヒロシマ」ではなく、「ノーモア・ヒロシマ」こそが、「ヒロシマの心」です。参加者にとって、自分ひとりでできる「平和を創り出す」実践に取り組みはじめる契機になればと願っています。(国際教養学部教授 篠原 牧)

国際教養学部では、授業の他に教員が学生のために以下のような勉強会を行っています。ここでは、①担当教員名と②勉強会のタイトルと内容を簡単に御紹介いたします。

① 足立直子
② 読書会(近現代の文学作品を楽しみながら一緒に読む)

① 植西浩一
② 国語教職学習会(中学校・高等学校の教職に就くための問題練習・解説、グループワーク演習など)

① 柚木靖史
② 研究生対象勉強会(日本語研究の方法や論文を書く技術について指導する)

① 佐藤茂樹
② 古典文法講座(教員採用試験対策として解釈文法の

復習
② 古文解釈講座(教員採用試験対策として、古文読解力の養成)

① 橋本一夫
② ITパスポート勉強会(ITパスポート受験のための勉強会)

② SPI勉強会(SPIの特に非言語分野に特化した勉強会)

① 社会科教職担当教員(末永、木本、福田、永野)
② 社会科教職勉強会(社会科教員養成のための勉強会)

① 永野晴康
② 知的財産法勉強会(産業財産権法及び著作権法に関する勉強会)

① 永野晴康
② オランダ語勉強会(オランダベルギーの公用語としてのオランダ語の勉強会)

2014年度春季講演会報告

<p>英米言語文化学科 演題:20世紀に求めたもの 講師:前川 裕治 先生(本学教授) 日時:2014年6月18日(水)13:00~14:30 場所:ヒノハラホール5階アセンブリーホール</p>	<p>管理栄養学科 演題:病院食で求められるもの ~ニュークックチルシステムの導入~ 講師:橋本 龍幸 先生 (独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター 栄養管理室長) 日時:2014年6月18日(水)15:15~16:45 場所:人文館302教室</p>
<p>日本語日本文学科 演題:外国語で読むと もっと見えてくる 『坊ちゃん』の素顔 講師:宮本 陽子 先生(本学教授) 日時:2014年4月30日(水) 15:20~ 場所:人文館402教室</p>	<p>国際教養学科 演題:Language Rules: Make them? Or break'em? (言語のルール:作るか?破るか?) 講師:John Herbert 先生 (本学教授) 日時:2014年5月28日(水) 15:30~17:00 場所:ランバスホール</p>
<p>国際教養学科 演題:子どもは遊びの中で学びを広げる・ 深める一傍らにいる大人の役割— 講師:河邊 貴子 先生(聖心女子大学教授) 日時:2014年7月16日(水)15:00~16:30 場所:人文館303教室</p>	

国際教養学科 足立直子准教授の 受賞

本学、足立直子准教授(博士(文学))が、『芥川龍之介異文化との遭遇』(双文社出版、二〇一三年二月発行)に対して「第三回笹淵友記念日本キリスト教文学会奨励賞」を、本年五月一〇日に受賞した。

本賞はキリスト教と文学に関する優れた研究に贈られる賞で、足立准教授の芥川研究が高く評価されたこと証である。

田中圭子さん (総合研究所客員研究員の 全国大学国語国文学会賞)

本学の大学院言語文化研究科日本語文化専攻修士で、現在、総合研究所に所属する田中圭子さん(文学博士)の著書、『蕪集類抄の研究』(附:蕪物資料集成) (三弥井書店、二〇一三年)が、「全国大学国語国文学会賞」(会長中西進)を本年五月二十五日に受賞した。

本賞は日本文学・語学分野の研究の進展に著しい貢献をなした業績に贈られる賞で、田中さんの研究成果が日本語文化の専門領域において評価されたこと証である。

2014年度オープンセミナー

今年度も8月1日から国際教養学科(3日間)、生活デザイン・建築学科、幼児教育心理学科(4日間)でオープンセミナーが開講された。国際教養学科は50名、生活デザイン・建築学科は39名、幼児教育心理学科は39名が参加した。牛田山荘には12名が宿泊した。

最初の全体ガイダンスでは、学長挨拶、図書館利用説明、入試課からの諸注意を行い、参加生徒全員が緊張していたが、授業が始まるとみんな一生懸命に授業を受けていた。本当に3日間または4日間の授業を頑



張ったと思う。こうして本学の授業を受講したうえで、二人でも多くの生徒が入学へと結びついてくれることを祈っている。(入試課長 榎 良平)

2014年度オープンキャンパス

例年通り夏のオープンキャンパスは5回開催する予定だったが、8月10日(日)に開催予定だった第4回オープンキャンパスが台風12号の接近で中止せざるを得なくなり、非常に残念だった。その分、第1回、2回、3回、5回の来場者には心から感謝をしている。

今年から、保護者プログラムを午前と午後にもうけ、午前には学長講演、就職状況説明で本学の教育方針と就職状況を把握していただくとう工夫した。午後には各学科が誇れる専門分野の公開講座を行って好評を得た。学生食堂のランチ試食も昨年度好評だった。管理栄養学科の学生が考案した野菜たっぷりの「ベジフルメニュー」を提供し大好評だった。



学生スタッフも暑い中、元気に高校生、保護者に声をかけて頑張っていた。こうして、学生、教職員が力を合わせて開催するオープンキャンパスで、進路選択をしていくうえで参考になれば幸いである。(入試課長 榎 良平)

中学・高校

グローバル教育始動

広島女学院中高は、4月にスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されました。これを受け、平和教育・人権教育・国際教育を統合したPeace Studies(PS)が始まりました。新しい取組と今後の動きをご紹介します。

国内外からの来客が増え、各学年のPSでは生徒たちが多くのお会いを通して世界観を広げています。高1でのカンボジア学習では、在広島カンボジア人サルーニ氏より、少年兵として内戦を戦った経験をお話しいただき、凄惨な体験談に生徒たちは衝撃を受けていました。

高2では沖縄研修旅行の事前学習の一環として、首都大学東京の渡邊英徳教授からデジタル・アーカイブの意義についてお話をうかがいました。高3では、ICUの毛利勝彦教授から「平和の作り方」というモデル授業をしていただきました。いずれも、大学での学びの深さを体験でき、生徒の世界観が広がるものでした。

夏休みには、碑めぐりと

ともに、Peace Forumを開催しました。

ハワイのプナホウ高校、沖繩尚学高校、福山逸進高校、武田高校の生徒たちが参加し、平和・安全保障についてプレゼン・議論し、これをもとに来年までのアクションプランをまとめ、各校で発信していくこととしました。

来年3月には、高1のカンボジア研修と高1・中2合同の韓国研修を予定しています。ヒロシマの発信と共に、どうすれば平和な世界を作り出せるか、女学院生と世界の若者が対話し実践に移していきま



（グローバル教育推進部 安宅 弘展）

NPT再検討会議 第3準備委員会を傍聴して

「平和首長会議」は「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界158か国6000都市が加盟する世界最大級のNGOで、広島市長が会長を務めておられます。この度、

6年前に本校で始まった「核廃絶！ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン」の活動が平和首長会議と広島市より高く評価され、本校生徒2名を含む8人の高校生がニューヨークに派遣されました。4月27日～5月2日の日程で渡米し、国連本部で開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議第3準備委員会の

国際会議を傍聴したり、平和首長会議が主催するユースフォーラムでプレゼンテーションをしました。本校からは高3の今井穂花さん、久保田一帆さんが参加しました。

国連本部での国際会議傍聴は格別なものがあり、世界が核兵器に対してNO！と言っていることを強く感じることができました。また、パン・ギムン国連事務総長やアンゲラ・ケイン国連軍縮部上級代表といった方々にも面会することもできました。事務総長には昨年度集めた署名を手渡し、本校の今井さんがあいさつのスピーチをしました。上級代表との面会は、本校の卒業生で国連事務官の荊尾

遥さんの計らいで実現したもので、4月の街頭署名で集めた2000筆とニューヨークで集めた1000筆を手渡し、本校の久保田さんが代表であいさつをしまし

た。ケインさんは特に現地

で集めた1000筆に驚かれ、生徒たちの行動力に感心し、ここでも「期待している」という言葉を頂きました。ユースフォーラムは様々な国の首長さん始め、メディアの取材も多く入り、会場は座りきれないほどの人でした。プレゼンテーションでは「核廃絶のための署名活動」を軸に、参加4校のそれぞれの観点からの動機や展望などを述べ、終了後はどの首長さんからも高い評価を得ただけでなく、若い世代がいかに期待されているかということを感じました。

ニューヨークでは全米でもトップクラスのスタイベサント高校と国連学校の小学部で交流してきました。広島市の原爆や署名活動に関するプレゼンテーションをしました。高校では想像したこともないような鋭い質問に戸惑いもしました。しかし、「自分たちも署名に協力したい」と申し出てくれ、活動の広がりを実感しました。小学校では子どもならではの素朴な質問に、これまた戸惑いつつも、原点に戻ることができたような感覚を得ました。

5泊7日の日程はとてものタイトでしたが、十分すぎるほどの充実感と達成感を得た研修でした。これを今後どのように活かすか、またどのようにつなげていくかを考えるのが大きな課題ですが、思考を止めることなく、次に進める道を整えたいと思います。

（グローバル教育推進部 高見 知伸）

夏期海外生活 体験学習

7月25日から8月10日まで、中3生徒18名は、オーストラリアのメルボルンでの英語研修に参加しました。

緊張と不安で一杯の生徒たちを、ホストファミリーのみなさんが温かく迎えてくださり、すぐに現地での生活に慣れることができました。

毎年私たちが受け入れてくださっているキルビントン・グラマー・スクールでは、英語の集中授業の他に、日本語や演劇、音楽などの授業にも参加させていただき、キルビントンの生徒たちとの交流を楽しみました。また、毎年8月6日をPeace Dayとして、女学院の生徒たちが平和についてプレゼンテーションを行う場を設けてくださっており、今年も原爆や東日本大震災について英語でプレゼンテーションをし、その後共に平和を祈りながら折り

鶴を折りました。この折鶴は、帰国後、平和記念公園の原爆の像へ捧げました。

課外授業では、世界大学ランキングで上位にランクされているメルボルン大学を訪ねました。歴史を感じさせる落ち着いた雰囲気、将来の夢を膨らませた生徒たちも多かったようです。

二週間という短い間でしたが、生徒たちは皆、出発前よりもたくましくなって広島に戻ってきました。英語でコミュニケーションを取れたという自信と、自主的に行動する習慣を身に付けることのできた研修になりました。

（グローバル教育推進部 野中 理恵）



（グローバル教育推進部 野中 理恵）

生徒の活躍

- ◇ 中学新体操部 中国大会 団体4位
- ◇ 中学合唱部 第81回NHK全国学校音楽コンクール 中国ブロック 銅賞
- ◇ マンドリン部 全国ギター・マンドリン音楽コンクール 優秀賞イタリア総領事賞
- ◇ 高校新体操部 中国大会 団体5位

平和を祈る週

6月16〜21日は平和を祈る週でした。スーパージョーバルハイスクールに指定されたこととも関連し、各学年の平和学習(Peace Studies)・中学礼拝委員会と高校宗教委員会主催の「昼の集い」や募金活動・特別礼拝で多くの人々や知らなかった世界との出会いがありました。期間中には、コスタリカ人留学生、首都大学東京でヒロシマ・アーカイブを開発された渡邊英徳教授やウイグル族の留学生などさまざまな方々との交流があり、平和について考えました。

最終日の特別礼拝には、川野登美子さんのお話を聞きました。川野さんは佐々木禎子さんのクラスメートで、中学生時代に「原爆の子の像」建立のための活動を行っておられた方です。川野さんから、原爆の体験が今もなお被爆者にとって忘れられない悲しみであること、禎子さんのために何かしたいという純粋な思いで、クラスメートたちが奔走していたことをうかがいました。川野さんの思いや、はじめて知った事実を受けとめた生徒たちは、これか

らあらためて「原爆の子の像」と出会うとき、今までよりもさらに深い気持ちで宿るのではないかと思えます。(宗教教育委員会 矢野 一郎)



矢野 一郎

8/6 平和記念礼拝

「平和記念礼拝」を捧げました。メッセージは宝塚原爆被害者の会会長の岡邊好子さんです。この日は朝からの豪雨で生徒の登校を見合わせましたが、平和活動で女学院に来ていた各地のお客様やその活動のために登校していた生徒、そして教職員が参加して礼拝を守りました。

原爆投下の朝、岡邊さんは猿猴橋近くのご自宅で被爆。ご家族と共に現在の安佐北区の救護所へ避難されましたが、大火傷を負ったお父様を天へ送り、その後、岡山の学校へ移り、戦後、苦勞して生きて来られました。が、「女学院で受けた教育のお陰で道をそれるようなことはなかった」と強調しておられました。この礼拝の中で、岡邊さん

んに高等女学校の「修了証書」をお渡しし、校歌を歌って参加者一同でお祝いしました。

礼拝後、高校生が取り組んでいるヒロシマ・アーカイブのため、岡邊さんにインタビュー収録をお願いしました。写真はその時の様子です。(宗教教育委員会 矢野 一郎)



矢野 一郎

中1オリエンテーション合宿

中1学年合宿は6年間の女学院生活の良いスタートを切る事ができるよう、入学後間もない時期に実施していますが、今年度は4月24日(木)・25日(金)に行われました。

初日は、比治山の校母ゲインズ先生の幕前で祈りの時をもち入学の報告をした後、グリーンピアせとうちにバスで移動。青空の下、各クラス「同級生インタビュー」を行い、クラスメイトや先生と交流を深め、友だちや自分を再発見しました。夜は、昼の交流を振り返り、夕礼拝を持ちまし

た。キャンドルサーピスのロソクの灯りのもと、女学院に入学したことの意味やこれからの歩みに静かに思いをはせました。

二日目は、「プチ☆校歌・讚美歌コンクール」を行いました。短い練習期間でしたが、どのクラスも個性豊かで一生懸命歌う姿が感動的でした。その後、運動場でクラス対抗長縄大会が行われ、クラスの一体感がいっそう強まりました。最後の昼食はおいしいパーベキューでお腹いっぱいになりました。

帰る頃には、女学院生らしくなった1年生の皆さんの姿を見ることができました。この経験を生かし、これからの学校生活を充実させていってほしいと思えます。(中1 学年会)

中2チャレンジキャンプ

7月23日から2泊3日の中2チャレンジキャンプを行いました。この行事も5年目を迎え、さまざまな改善がなされ、心配された梅雨も明け、とても充実した3日間を過ごすことができました。

初日は水梨口でバスを降り、高校生リーダーの先導のもと各グループ、キャンプ場までの8.4kmにチャレンジしました。木々の間を抜ける風も気持ち良く各グループ励ましあって無事キャンプ場まで歩きとおしました。テント設営や夕食のカレー作りもリーダーの指導のもと協力し合っ

てきはきこなすことができました。2日目は、恐羅漢山山頂に向かつてチャレンジしました。あいにく、雨が時々降る天候でしたがその分涼しく登ることができました。最初の急勾配では各グループとも励ましあい、リーダーの指示で適宜休憩を取りながら、どのグループも無事登頂をすることができました。下りの林間コースは緑の木陰を歩きながら癒しの時間が持てました。

夜のキャンプファイアーは満天の星空のもと、リーダーの素晴らしい指導で充実した時間を過ごすことができました。(中2学年主任 中平 隆夫)

中高合同文化祭のご案内

一般公開を、11月2日(日)、9時45分〜15時30分に行います。ぜひご来場ください。

(高校生徒会顧問 長谷川 史) ポスター 1年B組 藤田 夏輝



1年A組 小瀬木 咲



女学院 クリスマス案内

左記のように女学院クリスマス礼拝を行います。ご家族・ご近所・お知り合いの方たちとお誘い合わせの上、ぜひいらしてください。

○日時 12月20日(土) 18時〜19時30分(開場17時30分)

○場所 女学院中高ゲインズホール

○出演 中学YWCA部(ハンドベル)、高校放送部、高校有志による聖歌隊、高校YWCA部(朗読他)、高校宗教委員会(宗教教育委員会)

幼稚園

花の日礼拝

今年も色とりどりの花を子どもたちが幼稚園に持って来てくれました。各クラスで礼拝の時を持ち、その後私たちが日頃見守ってくださっている方々へ感謝の気持ちを込め、お花を持っていきまし。温かく迎えてくださり、早速飾って下さった花を見て子どもたちは大変喜んでおりました。花も、私たちが神様から守られ、大きな愛に包まれて毎日を過ごせていることに感謝を致します。

(幼稚園 桑原 ユミ)



冷たいお水、気持ちいいね。おそうめんがおいしいね。

夏の暑さを楽しんで

六月、幼稚園では流しそうめんを楽しみました。そうめんを流したのはお父さんたちが用意してくださった竹です。箸の使い方にもだきこちなさの残る子どもたちですが、一生懸命に流れてくるそうめんを見つめ、タイミングを見計らって箸を持ちあげます。「たくさん取れたよ」「おいしいねえ」と夏の涼を五感で味わいました。暑い夏だからこそ気持ちいい水遊びや出会える虫たち。そんな夏だからできる体験を豊かに用意してくださいる神様に感謝です。

(幼稚園 津川 育美)



いつも、ぼくたち、私たちのこと守ってくれてありがとう



慰霊碑にて。みんなの祈りが届き世界中が平和になりますように

「ぐしゃぐしゃになつてる。」と驚いたり、平和の灯を見て「世界中から核兵器がなくなった時にこの灯は消えるんだよ。」という話を聞き、「まだ、どこかに核兵器があるってこと?」「何で核兵器をなくさないんだらう?」と灯が燃え続けていることを疑問に思ったりと、いろんなことを感じた子どもたち。慰霊碑では「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませんから」の言葉を心に刻み祈りの時をもちました。子どもたちにとっては昔の出来事でも小さな心は平和を祈っています。

(幼稚園 梅田 桃香)



たくさんの人達の思いや折り鶴が原爆の子の像に届けられているね

年長組では一学期のお泊り会で平和記念公園へ足を運び碑めぐりをします。これまで子どもたちは戦争のお話を聞いたり、ヒロシマの出来事や戦争の恐ろしさ、今でも続く悲しみや苦しみがあること知り「平和ってなんだろう?」と考えてきました。実際に平和記念公園へ行き、原爆の子の像で願いを綴ったメッセージと共に一人ひとりが思いを込めて折った折り鶴を捧げたり、原爆ドームを見て「ぐしゃぐしゃになつてる。」と驚いたり、平和の灯を見て「世界中から核兵器がなくなった時にこの灯は消えるんだよ。」という話を聞き、「まだ、どこかに核兵器があるってこと?」「何で核兵器をなくさないんだらう?」と灯が燃え続けていることを疑問に思ったりと、いろんなことを感じた子どもたち。慰霊碑では「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませんから」の言葉を心に刻み祈りの時をもちました。子どもたちにとっては昔の出来事でも小さな心は平和を祈っています。

平和の祈り

おとまり会

七月、年長組はおとまり保育をしました。みくまり峡で川遊びや、キャンプファイヤーなど楽しい活動がたくさん。親元を離れ、どきどきしながらも自分の事をきちんと自分ですることや、友だちと力を合わせて心を繋いで過ごした一泊二日。子ども達は大きな自信という力がつき晴れやかな顔立ちで朝を迎えました。

(幼稚園 久保木 裕子)



校勢概要 (2014.5.1現在)

◇職員数 (非常勤講師を含む)

Table with columns for 所属 (所屬), 大学院 (大学院), 大学 (大学), 中高 (中高), 種別 (種別), 性別 (性別), 言語文化 (言語文化), 人間生活学 (人間生活学), 国際教養学部 (国際教養学部), 人間生活学部 (人間生活学部), 計 (計), 中学 (中学), 高校 (高校), 計 (計), 幼稚園 (幼稚園), 法人本部 (法人本部), 計 (計).

◇2014年度学生・生徒・園児在籍数 ()内は内数で休学者数を表す []内は内数で進級留学生数を表す

Table with columns for 校部科 (校部科), 学年 (学年), 1, 2, 3, 4, 小計 (小計), 計 (計). Rows include 言語文化研究科 (言語文化研究科), 人間生活学研究科 (人間生活学研究科), 大学国際教養学部 (大学国際教養学部), 大学人間生活学部 (大学人間生活学部), 大学文学部 (大学文学部), 大生活科学部 (大生活科学部), 高等学校 (高等学校), 中学校 (中学校), 幼稚園 (幼稚園), 計 (計).

◇財産目録 単位 円 ()内は面積等(単位整数)

Table with columns for 一、基本財産 (一、基本財産), 10,181,425,578円 (10,181,425,578円), 中学校建物 (中学校建物), (7,895.59㎡) 695,188,277円 (7,895.59㎡) 695,188,277円, 1. 土地 (1. 土地), (230,939.85㎡) 1,138,197,688円 (230,939.85㎡) 1,138,197,688円, 大学校地 (大学校地), (202,472.33㎡) 581,008,581円 (202,472.33㎡) 581,008,581円, 高等学校校地 (高等学校校地), (10,716.12㎡) 336,684,120円 (10,716.12㎡) 336,684,120円, 中学校校地 (中学校校地), (13,002.00㎡) 195,030,000円 (13,002.00㎡) 195,030,000円, 中高寄宿舎跡地 (中高寄宿舎跡地), (852.89㎡) 8,528,900円 (852.89㎡) 8,528,900円, 幼稚園校地 (幼稚園校地), (3,328.25㎡) 3,507,070円 (3,328.25㎡) 3,507,070円, 校外土地 (校外土地), (568.26㎡) 13,439,017円 (568.26㎡) 13,439,017円, 2. 建物 (2. 建物), (60,850.00㎡) 6,969,464,841円 (60,850.00㎡) 6,969,464,841円, 大学建物 (大学建物), (39,491.48㎡) 4,303,694,811円 (39,491.48㎡) 4,303,694,811円, 高等学校建物 (高等学校建物), (11,093.55㎡) 1,724,279,623円 (11,093.55㎡) 1,724,279,623円.

◇2013年度財務三表

◇資金収支計算書

単位 円

Table with columns for 科目 (科目), 金額 (金額). Rows include 収入の部 (収入の部), 支出の部 (支出の部), 収入の部合計 (収入の部合計), 支出の部合計 (支出の部合計).

◇消費収支計算書

単位 円

Table with columns for 科目 (科目), 金額 (金額). Rows include 収入の部 (収入の部), 支出の部 (支出の部), 消費収入の部合計 (消費収入の部合計), 消費支出の部合計 (消費支出の部合計), 当年度消費支出超過額 (当年度消費支出超過額), 前年度繰越消費支出超過額 (前年度繰越消費支出超過額), 基本金取崩額 (基本金取崩額), 翌年度繰越消費支出超過額 (翌年度繰越消費支出超過額).

◇貸借対照表

単位 円

Table with columns for 科目 (科目), 金額 (金額). Rows include 固定資産 (固定資産), 有形固定資産 (有形固定資産), その他固定資産 (その他固定資産), 流動資産 (流動資産), 資産の部合計 (資産の部合計), 負債 (負債), 流動負債 (流動負債), 負債の部合計 (負債の部合計), 基本金の部合計 (基本金の部合計), 翌年度繰越消費支出超過額 (翌年度繰越消費支出超過額), 消費収支差額の部合計 (消費収支差額の部合計), 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 (負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計).

事務局

会議報告

5月定期評議員会

2014年5月23日10時より開催。

任期満了による評議員の改選について、評議員定数を37名から29名に減ずる寄附行為認可申請中であるが、認可されるものとして22名を改選した。

新旧評議員の交代の後、今年度の評議員会議長に辻学評議員を選出し、議事に入った。

選任事項として、評議員会推薦理事候補者について父母評議員より香川浩史氏、卒業生評議員より大矢みどり氏、学識経験者評議員より城納一昭氏を候補者とした。また友田監事の任期満了に伴う後任の監事として、高橋義則氏の選任に同意した。

諮問事項として、6期以上在任又は特に功績のあった評議員8名を、名誉評議員称号授与候補者として、理事会へ推薦することとした。

続いて、2013年度事業報告・決算及び監査報告を了承し、理事会へ答申することとした。

また、第1次補正予算案、寄附行為施行細則及び常任理事会規程の変更について承認した。

このたび評議員を退任する今中巨氏に参与として就任いただく旨、理事長より報告があった。

第127回理事会

2014年5月23日14時より開催。

選任事項として、理事定数を18名から14名に減ずる現在申請中の寄附行為変更が認可されるものとして、評議員会推薦理事3名を選任。また理事長推薦理事が2名となることから、学識経験者理事である藤本黎時氏を理事長推薦理事とすることとした。また、林春樹氏、今中巨氏の理事退任に伴い、尾崎八郎理事を常任理事に選任。三浦副学長、篠原生活科学部長の辞任、村上生活科学部長の選任について承認した。

審議事項として、名誉理事・評議員称号授与者の決定、2013年度事業報告・決算及び監査報告、第一次補正予算案、タクシーチケット利用規程の制定、寄附行為施行細則、常任理事会規程及び内部監査規程の変更について承認した。また、昨年度の内部監査実施状況の報告があり、今年度の監査計画についても承認した。

第128回理事会

2014年7月25日14時より開催。

審議事項として、次期院長選考委員会の設置と選考委員数を決定した。

2015年度予算編成に伴う人事計画案及び人件費予算案について審議、承認した。

また、タクシー券利用規程の制定、昨年度に引き続き私立大学改革総合支援事業補助金への応募することについて承認した。

(法人事務局長 大北 和幸)

IAMSCU世界大会 2014開催報告

2014年5月24日(土)〜28日(水)にかけて、本学院をはじめとする広島市内各地において、Peace, Reconciliation and Human Rights をテーマに、IAMSCU世界大会2014が開催された。IAMSCUは、世界60ヶ国に約800校を数えるメソジスト派関係校の同盟組織である。18世紀イギリス産業革命により乱れた人心と社会を立て直すため教育に力を入れた始祖J.ウェズレーの精神を受け継ぐメソジストは、世界中で教育を通じて神と人とに仕えることを使命とし、国内でも本学院のほか、関西学院、青山学院など17校の設立に関わった。

3年に一度の世界大会は、今年大会で7回目を数えたが、初のアジアでの開催地に広島が選ばれたことは、加盟校および参加者の平和に向けた強い関心を示している。世界各国の加盟校が抱える課題の共有や、平和や人権に関する責任と役割、社会貢献などの協議のために、約200名の学校関係者および約60名の学生リーダーが集まった。

25日(日)、中高ゲーンズホールでの開会式は、来賓に松井一寛広島市長をお迎えし、星野晴夫校長のオルガン演奏による礼拝形式で行われ、湊晶子学長によって力強い歓迎のメッセージが語られた。会期中は、中高生徒による平和公園碑めぐりや、大学生ボランティアとの交流プログラムや福祉施設訪問等々が、IAMSCUの歴史に残る質の高いプログラムとして、参加者の高い評価を受けた。また、黒瀬真一郎理事長・院長(大会委員長)のもと、本学院の職員をはじめとした女学院ファミリーに、多くの参加者から熱烈な賛辞が寄せられた本大会の成功は、本学院の名前と共に、メソジスト教会系の前とを中心に、世界の各所で話題となっている。

学内外にあって、本大会のためにお心をくだき、時間とお力を割いて下さった皆様にご心から感謝したい。(チャプレン 澤村 雅史)

栗木原さん(卒業生) Kurose Peace Scholarship 第一号受給者の活躍

村上芳野さんは、1952年広島女学院高校を卒業後、米国マウントユニオン大学へ留学、優秀な成績を修め、学内外において献身的な奉仕活動に積極的に参加し敬愛されました。

当大学では戦後初めての日本人留学生でした。結婚後痛みかかり32歳で昇天しました。祈りと愛と行動の人・芳野さんの功績を称え母校広島女学院から留学生を迎えるために奨学制度が設置され、今日まで46年間にわたり13名の卒業生がその恩恵に預かっています。

1997年私はそれまで世話になった9名の卒業生の大学時代の思い出や近況をまとめた冊子を作成しお礼に持参しました。戦後間もなく日米間に複雑な感情が渦巻く中、平和な社会の実現を願い、「ヒロシマの心」を伝えようとした本校卒業生を愛を持って受け入れてくださった大学関係者と地域の方々にお礼を申し上げます。

2007年ギース学長夫妻とコールマン副学長が来校され、本校の平和教育を高く評価してくださり「Shincho Kurose Peace Awards」を新たに制定してくださいました。

その第1号として2010年9月、栗木原さんが奨学金を授与され渡米し、本年6月卒業しました。「芳野奨学金」第3号受給者で、卒業後母校マウントユニオン大学教授として活躍されている大敷直子さんのお手紙の一部を紹介し

ます。「栗木原さんは名誉ある奨学金第1号として入学当初から本当にしっかりやってくれました。講座の勉強だけでなく留学生グループのリーダーシップから、イギリス留学、キャンパスのあらゆる組織で積極的に交流、活躍し教職員から高い評価と信頼を得ました。そのような活躍が認められ、卒業式で学部と全大学から一人だけが選ばれる賞を2つ受賞しました。本当にKurose Peace Awards の授与者としてふさわしい学生で、私も先輩として本当に誇りを感じました。」(院長 黒瀬 真一郎)



広島女学院 クリスマスコンサート メサイアのお知らせ

今年度も広島女学院クリスマスコンサート「メサイア」を12月23日(火・祝)に開催します。会場は中学・高等学校ゲーンズホール、開演は午後5時30分です。

ご家族お誘い合わせでご来場ください。問い合わせ:法人事務局総務課 電話08272280380

広瀬ハマコ 記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニバゲーンズ先生から直接に薫陶を受けられました。その期待に応えられ、園長・学長、院長、理事長として36年間にわたり本学院発展のために尽瘁されました。

1988年にご天夭。その年、資財は全額先生ご遺言により本学院に寄付され「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。

○応募条件: 本学(高校、大学)卒業生で、国内外の大学院在学者

○選考: 本人申請により3月9月に行います。詳細お問い合わせは、法人事務局総務課まで 電話08272280386 (院長 黒瀬真一郎)

チャペル行事案内

『教会音楽講座』オルガン実技レッスン

日時: 10月25日(土) 9:00~15:00
場所: 広島女学院大学ゲーンズチャペル
講師: 玉理照子オルガニスト

『ゲーンズチャペル』オルガンコンサート

日時: 11月8日(土) 14:00~15:00
場所: 広島女学院大学ゲーンズチャペル
演奏とお話: 玉理照子オルガニスト

2014年度 (保護者会) 役員

(敬称略・順不同)

大学協力会

- 会長 石田 勇治
- 副会長 森長 京子
- 理事 徳九 千夏
- 向井 英佳
- 奥田 満子
- 橋本 和代
- 波多野五三
- 桐木 建始
- 松浦 正博
- 澤村 雅史
- 梶山 照子
- 谷川 正芳

中高PTA

- 会長 福戸山 正明
- 副会長 濱田 英樹
- 澤井 貴介
- 山下 竜正
- 柏木 宏之
- 大石 三和
- 三川 美穂
- 宮下 一成
- 島田 青坪
- 香川 浩史
- 星野 晴夫
- 渡辺 信一
- 森永 裕子
- 川口早香美

幼稚園母の会

- 会長 庄司 抄織
- 副会長 高田久美子
- 会計 遠藤 由美
- 書記 川畑 香織
- 館上千恵子
- 植岡 美和
- 前田 愛子
- 守川 優穂
- 石河 真紀
- 中野 悦子
- 菅野 晃子
- 住田 千恵
- 波多野智春
- ワイルド和代
- 藤岡 美穂
- 谷口 千晶

教職員動静

8月31日受付分まで

- 今泉 慶子
- 野間 裕子
- 竹森 恵
- 宮村 久味

- 赤羽 克秀 (2014.5.23~2017.5.22)
- 石田 勇治 (2014.5.31~2017.5.30)
- 監事 高橋 義則 (2014.6.1~2016.5.31)
- 名誉理事 真名志輝雄 今中 亘
- 名誉評議員 大國 和江 野村 久子 荒川純太郎 塩田 克昭 真名志輝雄 古屋由利子 林 春樹 塩治みはる ボランティアセンター長 澤村 雅史 (2014.4.1~2016.3.31)
- 生活科学部長 村上 和保 (2014.5.23~2015.3.31)
- 入試部長 河内 清志 (2014.5.13~2016.3.31)

人事

選任 大矢みどり 香川 浩史

理事 城納 一昭 (2014.5.23~2017.5.22)
 理事(条項変更) 藤本 黎時 (3号理事から4号理事へ)
 (2014.6.10~2017.6.9)
 評議員 波多野五三 桐木 建始 渡辺 信一 古重 歌織 石田 直子 古屋 ルリ 金信 美幸 山中 映子 與儀 泉 山口 裕子 福戸山正明 三吉 小折 田中 保昭 今石 牧子 石崎 信三 辻 学 城納 一昭 青木 暢之 大久保雅通 吉川 浩司

寄附

8月31日受付分まで

学長就任祝として

大矢みどり様 10,000円
 古屋由利子様 10,000円
 内山 豊子様 10,000円

大学教育のための アンサンブルアイリス様 10,000円
 机借用のお礼 広島キリスト教会様 10,000円

送付御礼 眞倉 和子様 15,000円
 土井ミカヨ様 15,000円

御礼 西垣 二一様 10,000円

中高教育充実のため 岡邊 好子様 50,000円
 塚本 有香様 50,000円
 畑野 喜信様 50,000円
 皆本 陽子様 50,000円
 森脇 正樹様 50,000円
 寺脇 幹雄様 50,000円
 野中 理恵様 50,000円

広島女学院大学 クワイヤ活動のために 長西 貞美様 20,000円

6/28結婚式感謝 大沼 百合様 50,000円

グランドピアノ 小玉 妙様 400,000円

配置転換 今井 妙 (2014.6.1付)

退職 竹尾 竜一 (2014.3.31付)
 藤原 恭子 (2014.4.30付)

一般(厚生補導費分) 広島女学院協力会様 7,809,420円

一般(講師謝礼分) 広島女学院協力会様 251,649円

一般(引率旅費分文学部) 広島女学院協力会様 72,950円

一般(引率旅費分生活科学部) 広島女学院協力会様 143,560円

一般(引率旅費分国際教養学部) 広島女学院協力会様 58,750円

一般(引率旅費分人間生活学部) 広島女学院協力会様 40,630円

現物寄附 松重 正清様 電気掃除機パナソニック 平岡 敬様 サイクロン式 栗原貞子直筆論文 五十年代への提言応募原稿 (核文明から非核文明) 内藤 みどり様 「黒い卵」(完全版) 増岡 頼子様 直筆色紙4点、「生ましめんかな」「旗」「ヒロシマ」というとき」等抜書き、「私は広島を証言する」「ヒロシマ未来風景」「The Song of Hiroshima」各1冊、「ひろしまの河」No.1,2,5,6,8,12,13,復刻1号、思いの出の疎開児童紙芝居

中村 朋子様 19年12月7日英字新聞 中村 勝美様 ノートパソコン2式

訂正 第172号学院報(2014年4月20日発行)P8の表彰欄の永年勤続者20年勤続者に「小坂千穂さん」の名前が誤って記載されていました。お詫び申し上げます。

日誌抄 4・1(火) 新任式・オリエンテーション

編集後記 これまで広島は地震や台風の災害も少なく、安全な土地だとばかり思っていました。ところが8月の下旬に入って、突然の雷雨が広島を襲い、安佐南区と安佐北区が大規模な土砂崩れ災害に見舞われました。被害に遭われた方々が一日も早く、平和な日常生活を取り戻されますよう、お祈り申し上げます。(大学宮本 陽子)

大学院大学入学 4・5(土)

中学校入学礼拝 4・7(月)

高等学校入学礼拝 4・9(水)

公認会計士監査 (実査) 4・10(木)

幼稚園入園礼拝 4・10(木)

事務協議会 4・14(月)

公認会計士監査 4・17(木)

学院運営協議会 4・18(金)

常任理事会 4・8(木)

常任理事会 4・9(金)

公認会計士監査 4・15(木)

定期評議員会 4・16(金)

牛田山荘管理運営委員会 4・28(水)

事務協議会 6・12(木)

学院運営協議会 6・19(木)

常任理事会 6・27(金)

事務協議会 7・10(木)

予算委員会 7・17(木)

学院運営協議会 7・27(金)

問題委員会 7・25(金)

被爆69年平和祈念式 8・6(水)

常任理事会 9・9(火)

事務協議会 9・11(木)

学院運営協議会 9・18(木)

理事会 9・26(金)

創立記念日 10・1(水)

広島女学院同窓会会報

2014年度 全国代表者会議報告

2014年度全国代表者会議が4月25日(金)午前11時45分からゲインズホール別棟チャペルで開催された。礼拝の後、永眠者への黙祷。大矢同窓会長の開会挨拶に続き、出席者の自己紹介。出席者はブロック長、支部長、地区長、本部幹事、事務局の38名。

議事は、書記が2013年度の事業報告を、会計が2013年度の会計報告を行い、2014年度の事業計画を書記が、2014年度の予算を会計が提案し、それぞれ承認された。

新幹事には、椎木裕子(高23・文日5)、竹内路子(高24・文英6)が承認された。東日本大震災の支援として、今回は「地球のステージ」に義援金として10万円を送り、支援は引き続き行うことに決定。

被爆70周年記念事業として被爆60周年記念証言集「平和を祈る人たちへ」の改訂版を出版することに決定。

灯。(詩編119編 105節)

支部長交代。大阪支部長 新任・岡本裕子(高28・文英10) 退任・片山芳子。神奈川支部長新任・徳久碧(高24) 退任・梶川由紀子。

ブロック、支部、地区会活動報告をそれぞれが発表。会議終了後、慰霊碑前で礼拝を持った。

学年幹事の集い

6月14日(土)「学年幹事の集い」を90名の参加者と共に、今年も讚美礼拝を行いました。小田部三恵子先生のメッセージ「キリスト教信仰—ほんとうの自由」を頂き、引き続き同窓会からの報告、協力依頼、次年度ホームカミングデー実行委員の紹介があり終了しました。



(学年幹事・名簿委員会 松永道子)

ゲインズ奨学金 授与式

7月3日大学において、同窓会より大学生4名にゲインズ奨学金が授与されました。

2013年度 収支決算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで
広島女学院同窓会 2014年3月31日作成(単位:円)

収入の部		
科目	2013年度予算	決算(2013.3.31)
同窓会会費	6,700,000	6,511,330
大学 10,800円×390=525円	4,500,000	4,211,475
高校 10,800円×208=525円	2,200,000	2,256,675
会友	0	43,200
事業収入	1,400,000	1,709,210
グッズ販売	1,000,000	1,203,010
バザー	400,000	506,200
雑収入	30,000	32,710
受取利息	0	1,423
寄付金	0	337,190
弁済金	490,000	644,321
前年度より繰越金	11,841,869	11,841,869
合計	20,461,869	21,078,073

平和祈念式報告

被爆69年の式典は前夜来の大雨のため、ゲインズホールにて行なわれた。出



席者は約二百名。在校生代表の追悼のことは、大学文学部の名井章さん。式後の朗読会では山口泰子さんの証言「あの日あの時」が朗読された。

寄付

(宗教委員会 内山豊子)

(2013年9月~2014年7月)
山口支部 10,000円
高15回 15,000円
高15回小田ホーム 12,190円
関西ブロック 20,000円
日本文学会謝恩会 40,000円

支出の部		
科目	2013年度予算	決算(2013.3.31)
事務費	2,980,000	3,022,695
消耗品費	150,000	149,891
備品費	1,800,000	1,842,804
人件費	1,030,000	1,030,000
事業費	2,700,000	2,322,859
全国代表者会議費	700,000	584,710
宗教委員会費	110,000	91,414
事業委員会費	1,150,000	965,389
バザー委員会費	50,000	49,543
同窓会報編集委員会	380,000	379,050
学年幹事・名簿委員会	210,000	152,753
ホームカミングデー補助費	100,000	100,000
母校支援費	1,700,000	1,608,000
アリスセンター維持費	600,000	600,000
ゲインズ奨学金	600,000	600,000
卒業証書カバー補助	500,000	408,000
通信費	180,000	151,380
電話料	110,000	100,835
郵税	70,000	50,545
旅費	350,000	347,700
同窓会館運営費	160,000	149,223
水道・光熱費	140,000	134,549
消耗品費	20,000	14,674
慶弔費	200,000	108,778
雑費	200,000	161,547
予備費	300,000	94,000
平和祈念式口座へ繰入	50,000	50,000
基本金引当資産へ繰入	1,000,000	1,000,000
(小計)	9,770,000	9,016,182
次年度へ繰越	10,691,869	12,061,891
合計	20,461,869	21,078,073

震災、その後の報告

原発のこれから

東日本大震災、続いて原発事故の後、3年半が過ぎました。当初、原発から55キロメートルの所にある当地には放射線の影響はないと思っ

たが、広報車が屋内退避と、窓を閉め換気扇も止めるよう指示して回ったので、ただごとではないと緊張しました。放射線の不安と共に、地震で全地域が断水になったので、神奈川県に住む娘の所に、給水が復旧するまで一カ月間、避難しました。

いわき市に帰ってから、も度重なる余震と共に、放射性物質の飛散状況や、放射線量の安全基準など何を信じていいのか分からなく不安感が募るばかりでした。

結局、放射性物質のセシウム134が半減期になる2年後、放射線量の

数値も下がり、内部被ばくについては研究機関の調査により問題ないと分かり、やっと不安感がなくなりました。しかし原発周辺の人達は生活が一変し、今も避難生活を余儀なくされています。

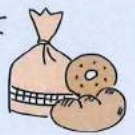
例えば、原発は一たび事故があれば大惨事になるといふ専門家もいますが、核の平和利用だから、安全だから、二酸化炭素をださないから、と言いつつ、放射線が怖いから、と感じながらも、便利な生活を追求し続けてきました。この事故から、原発の実態が一般の人にも明らかになり、原発について真剣に考えざるを得なくなりました。

原発の後処理が、あと何十年続くでしょうか。この事故が広範囲に及ぼす影響と、後世に背負わせることになる核のゴミを忘れないで欲しいと思います。

(福島支部 野村サッコ 高15回)

同窓会バザーのお知らせ

日時 11月2日(日) 午前10時~午後1時
場所 同窓会館(カフェ・アイリス)とゲインズホール前テント(バザー)
バザーのための献品を常時受け付けております。
問い合わせ先: 同窓会本部
TEL/FAX (082) 221-1059



支部会・地区会だより

愛媛・高知支部

3月15日 参加者15人
松山全日空ホテル6階
桃園
讚美歌を歌い、本部
幹事さん
から母校
の近況報
告後楽し
い時を過
ごしまし
た。



海外生活体験、スイ
スアルプスの山歩き、地域活
動の報告を写真や動画を使っ
てしていただきました。又、
紙芝居の実演などユーモアあ
ふれる支部会でした。
(田中チカ子 大英17回)

鹿児島支部

5月18日 参加者10名
サンロイヤルホテル

雄大な桜島を望む会場に
て、本部と福岡支部のゲスト
をお迎えしての和やかなひと
時を満喫！ 歓談の中、戦前
の英語劇上演のエピソードな

2014年ホームカミングデー報告と御礼

今年のホームカミングデー
は4月26日(土)、リーガロイヤ
ルホテル広島で「よりそう愛」
をテーマに302名の参加者
を得て開催されました。総合
司会の中村慶子様の着席の合
図で始まり、舞台上スクリー
ンには校章、あやめ、ゲーン
ス先生、雀、草原などの映像
が次々と映され学生時代の懐
かしい姿はとて好評でし
た。

杉江慶子様とアンサンブル
の皆様の美しい演奏で音楽礼
拝が始まり、星野校長先生の
司式により染色家、天谷理彩

ど、誇り高く
興味深い数々
のお話を伺う
ことができ、
早くも次回の
親睦会に心馳
せ、本当に
有意義な一日でした。
(市来真樹子 高44回)



滋賀県
近江八幡
市、建築
で有名な
ヴォーリ
ズ創設の
近江兄弟
社学園で
星野校長
先生の

関西ブロッコ

5月31日 参加者64名



「讚美歌とオルガンの調べ」
と題した演奏とお話、懐か
しき日々、又女学院創設の歴
史に思いを馳せる時となりま
した。二部はホテルに移り懇
親を深めました。
(古賀ひとみ 高22回)

埼玉支部

6月20日 参加者10人
風凩
川越の小江戸情緒あふれる
蔵造り通りをお土産物を買
いながら散策し、和懐石を楽
しましました。お洒落な洋服や小
物、参加者
の手作り品
のミニバ
ザーで一同
盛り上がり、
来年またね、
と再会を期
して散会し
ました。
(清水敬子 短17回)



山口支部

6月29日 参加者23名
山口市菜香亭



様(高36)が紹介され、大病
を患った時に神様の愛と友人
達のよりそう愛を感じたとい
うメッセージには心を打たれ
ました。礼拝後、湊晶子新学
長より「キリスト教に立脚し
た女子教育により世界に羽ば
たく女性の育成を」と力強い
ご挨拶を頂きました。
続いて、本業の大手外資系
コンサルタントの傍ら「あ
る奴隷少女に起った出来事」
を翻訳された堀越ゆき様(高
43)より講演があり、最後に
「私の人生の物語は自由で終
わりた」と語られた言葉は

印象的でした。
春野菜メインのお料理は美
味しくて、楽しい時間はあっ
という間
でした。
開催に
あたり多
くの皆様
のご支援
ご協力を
頂き心よ
り感謝御
礼申し上げ
ます。
(ホームカミングデー実行委員長
深山嘉代子)

の現状等を伺い、その更なる
発展を祈りました。初参加者
も得て、想い出や近況を語り
合ひ、和やかに意義深い会と
なりました。
(森戸順子 大英11回)

関東ブロッコ

原爆死没者追悼礼拝
第27回「夏雲の集い」

7月4日銀座教会伊藤牧師
による追悼礼拝に始まり、湊
学長の戦争体験
を伺い、平和を
願う「アオギリ
の木の下で」を
皆で合唱し平和
な時代に生かさ
せている事に感
謝する集いとし
た。学長の大学
への熱意に同窓
会も心一つに
思いました。
出席者55名
(村中陽子 高27回)



佐賀支部

7月5日 参加者14名
シャトー文雅



塩冶副会
長、維持会
役員金光さ
ん、福岡支
部8名を交
えて賑やか
にフランス
料理を楽し
んだ後、う
なぎのねどこデイスリーブス前
山民子施設長より高齢者デ
イスリーブスについてのお話をし
て頂き有意義な会でした。
(諸隈啓子 高16回)

召天

- 増田春枝 高女48
- 三上シゲ 高女40
- 長島道子(昔) 専庭2
- 横田さおり 文英23
- 熊谷幸枝(藤田) 専保2
- 竹内洋子(佐々木) 高9短8
- 登 富二枝(登) 短1
- 小根森徳子(石井) 専被2
- 西田治子(堀) 高女42
- 山出澄子(山出) 専被2
- 大池アヤ子 高女50
- 柳原芳枝(田中) 高女37
- 高橋瑛枝(井原) 高10
- 升川美登利(畑石) 短13
- 遠藤美智子(内田) 高女43専家1
- 実本文子(実本) 高女53
- 丹羽淑子(辻) 専英11
- 灘尾直樹(灘尾) 短18
- 甲斐英子(柴田) 専家24
- 岸田笑子(岡田) 高女46
- 吉池初子(住吉) 高女46
- 石木恒子(石木) 高女52
- 東田初枝(東田) 高女39
- 福田美恵子(山中) 高20短19
- 堂面育子(土屋) 専家26
- 日高恵子(伊藤) 高女48
- 山本裕子 文日24
- 前田 禮(多島) 高女51
- 土屋恵美子(諸澤) 高女55
- 新堀純子(河瀬) 高女49専英22
- 東 裕子(楠) 高26
- 柳原孝子(永山) 高女44
- 六角順子(川原) 短21
- 吉村敏子(南里) 高4
- 山本恵里子(広瀬) 高24
- 木村玲子(中沢) 高女50
- 太田充代(沖村) 高23
- 尾川喜恵子(岡尾) 高女45
- 岡本厚子(岡本) 高17
- 木島住子(正木) 高女36
- 長尾チサ子(長尾) 高女44
- 中島秀子(田中) 高17
- 伊集院奈保 高女33専家7
- 武内敏子 短2
- 宮本かおる 高32
- 吉田節子(広原) 高7
- 岩倉みどり(瀬戸) 高7
- 吉本清子(清水) 高7
- 生駒幸江(小泉) 専家22
- 田中光子(椎名) 専家14
- 田原幸子(田原) 専家23
- 倉本むつみ(山本) 文英2
- 藪野英子(武内) 高女44
- 金澤秀子(森野) 専被5
- 水間洋子(砂盛) 高13大英13
- 山本光江(今村) 高14短13
- 本田ハナミ 専家24
- 米中マサ子(浜本) 高女31
- 埴田るり子(斉藤) 会友専家15
- 中田麗子(中村) 高女50専英23
- 深山明子(絹谷) 高10短9
- 石堂恵子 高女52
- 道正千鶴子(杉原) 短3
- 今田利美(谷) 高33
- 新田孝子(加藤) 高43
- 高橋妙子(今井) 専家25
- 黒瀬慎子(佐藤) 大英10
- 藤本 栄(保田) 高女48
- 中村紀代子(坂本) 短30
- 佐川えむ(竹内) 高女33
- 倉田優子 高51
- 平賀和子(永野) 高女52
- 藤井朋子(沼屋) 短1
- 国信時子(国信) 高女52
- 藤島慶子(大堀) 専家23
- 荒木里枝(長広) 高女46
- 下房地克子(中村) 高12短11
- 久保本瑞子(友広) 短5
- 浜田央子(平瀬) 高女48
- 山中松枝(山中) 高女49
- 佐々木節子(竹本) 高9短8
- 小嶺圭子(坂村) 短4
- 岡田フジエ(平田) 高女38
- 新川和子(末田) 高女52
- 俵 清子(山村) 高女41
- 葉和寛子(小野) 高5
- 秋山菊枝 高女39
- 宮武美知子 高女9
- 永富玲子(藤原) 高女49
- 豊久弥生(清水) 高7
- 慎んで哀悼の意を表します。

2015年度 学生生徒 園児募集要項



大 学 (〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話 082-228-0386(代) FAX 082-228-7815

募集人員 国際教養学部 国際教養学科 240名
 人間生活学部 生活デザイン・建築学科 70名
 管理栄養学科 70名
 幼児教育心理学科 90名

中 学 校 (〒730-0014) 広島市中区上鞆町11-32
電話 082-228-4131 FAX 082-227-5376

入試試験概要

日程・区分	対象学科	出願期間	試験日	合格発表日	会場
※指定校制推薦入試	全学部全学科	2014年 10月27日(月)~11月10日(月)	2014年 11月15日(日)	2014年 11月20日(木)	本学
公募制推薦入試 A・B方式(専願) C方式(併願) (特芸方式(専願) は功心のみ)	国際教養学科	第1回 2014年 10月27日(月)~11月10日(月) ★11月11日(火)	第1回 2014年 11月16日(日)	第1回 2014年 11月20日(木)	第1回 本学・福山・周南・ 松江・松山
	生活デザイン・建築学科	第2回 2014年 11月27日(月)~12月8日(月)	第2回 2014年 12月13日(日)	第2回 2014年 12月18日(木)	第2回 本学
	管理栄養学科 (第1回のみ実施)	第1回のみ実施			
	幼児教育心理学科 (特芸方式は第1回のみ実施)	第1回のみ実施			
特待生入試	全学部全学科	2015年 1月5日(月)~1月22日(木) ★1月23日(金)	2015年 1月30日(金)	2015年 2月10日(火)	本学・福山・三次・ 周南・徳山・松江・ 松山・福岡
一般入試 (前期日程)	全学部全学科	2015年 1月5日(月)~1月22日(木) ★1月23日(金)	A日程 2015年 1月30日(金) B日程 2015年 1月31日(土) C日程 2015年 2月1日(日)	2015年 2月10日(火)	A日程 本学・福山・三次・ 周南・徳山・松江・ 松山・福岡 B日程 本学・福山・周南 C日程 本学
一般入試 (後期日程)	全学部全学科	2015年 2月16日(月)~2月27日(金) ★3月2日(月)	2015年 3月6日(金)	2015年 3月10日(火)	本学
大学入試 センター試験 利用入試 (A日程)	全学部全学科	2015年 1月5日(月)~1月29日(木) ★1月30日(金)	2015年 1月17日(土)~18日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2015年 2月10日(火)	—
大学入試 センター試験 利用入試 (B日程)	全学部全学科	2015年 2月16日(月)~2月27日(金) ★3月2日(月)	2015年 1月17日(土)~18日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2015年 3月10日(火)	—
大学入試 センター試験 利用入試 (C日程)	全学部全学科	2015年 3月16日(月)~3月21日(土) ★3月23日(月)12:00まで	2015年 1月17日(土)~18日(日) 大学入試センター試験 (本学独自の試験はありません。)	2015年 3月25日(木)	—

★窓口受付指定日:9:00~16:30入試課窓口にて受け付けます。(ただし、大学入試センター利用入試C日程のみ、窓口受付指定日(3月23日)は9:00~12:00まで。)

願書請求(送料共無料)

- ※推薦入試(指定校制)の要項は、直接、指定する高校へ届けます。
- ・在学されている高等学校へお問い合わせください。
- ・社会人、帰国生徒、外国人留学生特別入試および転入試・編入試に関する詳細は、入試課までお問い合わせください。
- ・オープンセミナー入試は終了しました。

大 学 院 言語文化研究科<博士前・後期課程>
人間生活学研究科<修士課程>

募集人員(男女共学)(春季分)

研究科	専 攻	博士前期、修士課程	博士後期課程
言 語 文 化	日本語文化	6名(秋季を含む)	3名
	英米言語文化	6名(秋季を含む)	3名
人 間 生 活 学	生活文化学	6名(秋季を含む)	
	生活科学	6名(秋季を含む)	

出願期日 2015年2月20日(金)~2月27日(金) 郵送必着
 試験期日 2015年3月5日(木)
 合格発表 2015年3月10日(火)

願書請求先 広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)
 URL: http://www.hju.ac.jp/ E-mail: nyushi@gaines.hju.ac.jp



キリスト教精神に基づいた教育を目指して

募集人員 約200名(5学級)
 応募資格 2015年3月小学校卒業見込みの女子
 出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は、他の手続あり。詳細は「2015年度学生生徒募集要項」を参照のこと。
 出願期間 2015年1月5日(月)より1月8日(木)
 出願方法 必要書類を出願期間中に広島女学院中学校あてに書留で郵送のこと。(当日消印有効)
 試験期日 2015年1月21日(水)
 選考の方法 (1)学科試験 (2)提出書類の審査 (3)面接による審査
 合格発表 2015年1月22日(木)
 願書請求 本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

ゲーンズ幼稚園 (〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話 082-228-6635 FAX 082-224-3141

募集人員 3歳児 66名 4歳児 若干名
 願書受付 2014年10月1日(水)
 入園面接 2014年10月8日(水)
 入園手続 2014年10月10日(金)

